

# 新年度を迎えて

園長 渡邊 博典

緊急事態宣言が解除されたものの、新型コロナウイルス感染者が高止まりの傾向にある中、令和3年度がスタートしました。今春、ひなぎく幼稚園の園長に着任しました渡邊博典（わたなべひろのり）です。私は中学校教諭として永年教壇に立ち、その後、教育行政や学校管理職等を経て、この度、幼児教育に携わることとなりました。今までの経験と自身の子育てを通して、人の成長にとって、いかに幼児教育が大切なものであるかを以前から強く感じており、この度の園の依頼に迷うことなく承諾させていただきました。どうぞよろしく願いいたします。

本園は保護者の皆様がすでにご存知の通り、モンテッソーリ教育を基盤として、子どもの自主性を大切に、子どもの長所を伸ばす教育をモットーとしています。教諭は子どもの支援者として寄り添い、一人一人の子どもの興味に応じてどのような支援が必要かを考え、空間的・物的環境を整えながら日々実践しています。親の子育ての基本としてよく言われている言葉「乳児期は肌を離すな、幼児期は手を離すな。児童期は目を離すな。青年期は心を離すな。」があります。いずれ子どもは親元を離れ、自立し、社会へ巣立っていきます。子育てができる10数年が、貴重な時間です。保護者の皆様におかれましては、子どもとの何気ない小さなかわりも大切にして、愛情をたっぷり注いでほしいと思います。

今年度もコロナ禍ではありますが、感染症対策と子どもの安全な活動を両立させ、保護者の皆様と我々職員との連携を密にして、共に健やかな子どもの成長を願い、本園の教育活動にご支援・ご協力いただけますようお願いいたします。

## 本園が目指す望ましい子ども像

- 秩序性のある子ども
- 集中力のある子ども
- 自立性のある子ども
- 好んで友達、動物、自然とかかわりを持つ子ども
- 何事によらず常に美しいものを目指す子ども